

B & G 大崎わんぱく海洋クラブの活動を取材してきました。真剣に取り組み、楽しむ子どもたちの様子をお届けします。

4月25日（日）、コアジサシを呼び込もうと、保護活動を行い、町内の小中学生20名と保護者が参加しました。参加者は、コアジサシについて学んだあと、模型に色を塗り、横瀬海岸へ設置しました。

参加した大崎小学校3年生の勝田翔太しょうたさんは「とても良い勉強になった。ヒナがみんな産まれてほしい」と話してくれました。

◎◎ コアジサシ、知っていますか？ ◎◎

絶滅危惧種に指定されている鳥です。日本に渡ってきて、巣を作り、子育てをして、また飛んで行きます。大崎町の海岸でも、飛来する姿がここ数年確認されています。



◀今年も、大崎町に来てくれました！

※コアジサシを見かけたら、遠くからそっと見守りましょう。



保護活動



◀自分たちで色を塗った模型を丁寧に設置していました

シーカヤック・SUP体験



体験後は、周辺の清掃活動



B & G 財団からカヌー8艇・SUP 8艇・ライフジャケットなどが贈られ、6月27日（日）に大崎小学校で舟艇器材配備式が行われました。

同財団の古山透とほる常務理事は「大崎町の豊かな自然を活用して、活動の幅が広がっていただきたい」とあいさつされました。

NPO 法人わんぱくの新宮邦久くにひさ代表理事は「今回、配備していただき、皆様のお子様を大きく、立派に育てる機会をいただいた。様々な体験活動に取り組んでいきたい」と話されました。

式典後、プールで SUP 体験会が行われ、参加した小学1年生から中学3年生までの児童生徒は、上手にバランスを取っていました。中学生が小学生のサポートをする姿も見られました。

B & G 大崎わんぱく海洋クラブとは

令和2年度に新設。町が青少年の自然体験事業を委託している、設立13年目の「特定非営利活動法人NPO わんぱく」と町が連携して活動をしています。豊かな自然を活かした体験活動や環境教育などを通して、子どもたちの健全育成や地域貢献活動を行うクラブです。